

【コミュニティホームピノ 令和8年度 第1回 運営推進会議 開催要項】

1. 開催目的 地域密着型介護老人福祉施設として、事業運営の透明性を高め、利用者・家族・地域住民・関係機関との連携を図ることを目的とする。
2. 日時 令和 8 年 7 月 23 日（木）14:00～
3. 場所 フレイグラントオリーブナナ 1 階食堂
4. 出席予定者
 - ・施設長 : 大久保
 - ・家族代表 : 一柳様
 - ・地域代表 : 大久保正美様
 - ・地域包括支援センター職員 : 当日出席できる職員とのこと
 - ・デイサービスピノ : 友田管理者
 - ・特養ピノ : 小林相談員
5. 議題
 - 1 令和 8 年度 運営推進会議の開催について
 - 2 事業所の運営状況報告
 - ・入居状況
 - ・職員体制
 - ・行事・活動の実施状況
 - 3 事故・ヒヤリハット・苦情の状況
 - 4 感染症・災害（BCP）対応の状況
 - 5 利用者の生活状況について
 - 6 地域との連携状況
 - 7 ご意見・ご助言
 - 8 その他
6. 次回開催予定 令和 8 年 10 月頃（おおむね 3 か月に 1 回の開催を予定）

以上

コミュニティホームピノ
令和 8 年度 第 1 回運営推進会議議事録

会議概要

- 開催日時： 令和 8 年 7 月 23 日 14:00~
- 開催場所： コミュニティホームピノ
- 進 行 ： 大久保施設長

出席者

- 施設側
 - 大久保施設長
 - 小林相談員(コミュニティホームピノ・ショートステイピノ)
 - 友田管理者(コミュニティセンターピノ)
- 外部委員
 - 川田氏(大野中地域包括支援センター)
 - ご家族代表 I 氏(入居者家族代表)
 - 大久保氏(地域代表・元民生委員)

議題

1. 令和 8 年度運営推進会議の開催について
2. 事業所の運営状況報告
3. 職員体制について
4. 行事活動の実施状況
5. 事故・ヒヤリハット・苦情の状況
6. 感染症・災害 BCP 対応の状況
7. 地域との連携状況
8. その他(意見交換・質疑応答)
9. 次回開催日程の決定

■議題 1: 令和 8 年度運営推進会議の開催について

- 開催目的: 事業運営の透明性向上と地域連携強化
- 開催頻度: 概ね 3 ヶ月に 1 回の開催を予定
 - 厚生労働省基準では 2~3 ヶ月に 1 回の表記のため 3 ヶ月で設定
 -

■議題 2: 事業所の運営状況報告

特別養護老人ホームの状況

- 入居者数(7 月 23 日時点): 26 名
- 入居予定: 2 名にお声掛け済み
- 待機者数: 22 名
- 入居者の健康状態
 - お看取りに入りそうな方が 1 名
 - その他の方は元気に過ごされている

ショートステイの稼働率

- 4 月: 69%
- 5 月: 79.7%
- 6 月: 73%
- 7 月(現時点): 70.3%

デイサービスの状況

- 定員: 18 名
- 4 月実績
 - 1 日平均利用者: 9.6 名
 - 稼働率: 53%
- 5 月実績
 - 1 日平均利用者: 8.8 名
 - 稼働率: 48.8%
- 6 月実績
 - 1 日平均利用者: 8.4 名
 - 稼働率: 46%
- 稼働率低下の要因
 - 入院や転倒による長期休みの方が発生
 - 6 月末で利用打ち切りとなった方が 5 名
- 今後の方針: 新規利用者の受け入れを積極的に実施予定

■議題 3: 職員体制について

- 常勤職員: 各ユニット 1 名(計 4 名)
- 非常勤職員: 複数名配置
- 派遣職員: 比率が高め
 - 今後の改善課題として認識
- 全体的な課題: 職員不足が続いている
 - 介護業界全体の課題として認識

■議題 4: 行事活動の実施状況

- 誕生日会の再開
 - 今年度から定期的に実施
 - リーダーと話し合いを重ねて実現
 - 誕生日に写真撮影を実施
 - 看護師が飾り付けを作成し、居室に飾っている
- その他の行事について
 - 職員の人数確保が困難なため、月 1 回の誕生日会が精一杯の状況
 - 今後職員が増えれば、外出レクやおやつレクの実施を検討
- コロナ禍の影響
 - コロナ以降、多くのイベントが中止
 - 職員不足も重なり、イベント再開が遅れている
 - 現在ようやく復帰し始めた段階

■議題 5: 事故・ヒヤリハット・苦情の状況

事故件数(ショートステイ含む)

- 4 月: 1 件
- 5 月: 3 件
- 6 月: 3 件
- 事故の内容: 転倒事故が大半を占める
 - 同じ方が繰り返し転倒している状況
 - お一人で移動される方の転倒が増加傾向

ヒヤリハット・苦情

- ヒヤリハット: 0 件
- 苦情: 0 件

■議題 6: 感染症・災害 BCP 対応の状況

BCP(事業継続計画)について

- BCP 計画書は作成済み
- 課題:地域との連携訓練
- 今後の方針
 - 運営推進会議を活用して地域連携を強化
 - BCP 訓練の実施を検討

感染症対応状況

- 入居者の感染: 去年度から現在まで 0 件(非常に良好)
- 職員の感染: 散発的に発生しているが、入居者への感染拡大は防止できている
- 現状の課題
 - インフルエンザとコロナが散発的に発生中
 - 他施設でも職員の感染が見られる
 - 引き続き警戒が必要

■議題 7: 地域との連携状況

現状の評価

- 地域連携は十分とは言えない状況
- 避難訓練、BCP 訓練、お神輿などで場所提供は実施
- 今後さらなる連携強化が必要

過去の取り組み(コロナ前)

- 運営推進会議を定期開催
 - 自治会長、老人会会長が参加
 - 地域包括支援センターと連携
- 福祉避難所としての役割
 - 施設の備蓄状況を地域と共有
 - 自治会の備蓄状況も把握
 - 災害時の受け入れ体制について協議
 - 受け入れ人数の検討
 - デイサービスの開放について検討
 - 一人暮らし高齢者への声掛け方法の検討
- コロナ禍で活動が停止

今後の連携強化策(意見交換より)

- 防災訓練への参加
 - 鶴野森地区では 10 月最終週に防災訓練を実施
 - 施設としても参加予定
- 備蓄米の活用
 - 期限前の備蓄米を使った試食会の開催を検討
 - 他地域の事例: 地域住民向けに試食会を実施
 - 現状は家族への配布のみ
- 地域イベントへの参加
 - 地域のお祭りへのブース出展を検討
 - 入居者と一緒にお祭りに参加する案
 - 課題: 夜間の人員確保が困難
 - 対策案: イベント時のシフト調整
- 一人暮らし高齢者の把握
 - 包括支援センターで一人暮らし調査を実施予定
 - 敬老の日に合わせて民生委員が訪問
 - 訪問できなかった場合は包括が訪問
 - 10 月頃には把握完了予定

■議題 8: その他(質疑応答・意見交換)

デイサービスの特征について

- 質問: 包括支援センターからデイサービスの特征について質問
- 回答(友田管理者)
 - フロアは比較的コンパクト(会議室より若干大きい程度)
 - 職員の目が届きやすい環境
 - 入浴は個浴を採用
 - 個浴を好まれる方が多い
 - 大浴場との選択も可能
 - 個別対応を重視
 - 編み物など個々の希望に対応
 - 静かに過ごしたい方に適している
 - パターゴルフを用意
 - 中庭でも実施可能
 - 実際は座って会話を楽しむ方が多い
 - 転倒リスクがあるため介護士2名の付き添いが必要
 - 真夏は実施困難
 - 平行棒を設置
 - 歩行訓練を希望される方に対応

福祉避難所としての役割(再確認)

- 受け入れ人数の明確化が必要
- 受け入れ対象者の選定方法
 - 一人暮らしの方を優先
 - 自治会と包括で情報を共有
- 避難方法の検討
 - 歩行困難な方の搬送方法
 - 道路状況が悪い場合の対応
 - 体育館からの移動方法
- 今後の課題: コロナ禍で中断した協議を再開する必要がある

■議題 9: 次回開催日程の決定

- 次回開催日: 令和 8 年 10 月 22 日(木) 14:00~
- 開催場所: コミュニティホームピノ(今回と同じ)
- 出席者の都合: 全員参加可能を確認

■会議の総括

- 今回が令和 8 年度第 1 回目の運営推進会議
- コロナ禍で中断していた会議を再開
- 地域連携の強化が今後の重要課題
 - 防災訓練への参加
 - 福祉避難所としての役割の明確化
 - 地域イベントへの参加検討
- 次回会議までに具体的な連携案を検討予定
- 施設見学: 会議後、包括支援センター職員が施設見学を実施

以 上